

Rotary



# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2022~2023年度クラブ目標

『想像しよう、未来のロータリー  
創造しよう、これからのクラブ』



イマジン  
ロータリー

会長 高 畠 裕  
幹事 車 田 裕 介



2022-23年度国際ロータリーテーマ

## 第1751回例会

令和5年3月23日(18:30~19:30)

### ○ソング

- 奉仕の理想

### ○スマイルBOX

- 高畠裕会長 (本日のホームミーティング後半の発表をいただいた書記の皆様、ありがとうございました。WBC優勝で本日のスマイルが多い事だと思います。)
- 青木大会員 (本日、3番目の子供が小学校を卒業する事ができました。4月からは中学校での部活動がスタートします。西RCで地域の子供たちの応援をよろしくお願いします。)
- 須藤正樹会員 (1月の誕生日のお祝いありがとうございました。遅ればせながらスマイルします。最近出席できなくてすみません。スマイルいたします。)
- 沼田重一会員 (今月、結婚記念日のお祝い品ありがとうございました。又、ホームミーティングでは金田バスタガバナー補佐を始め、皆様に大変お世話になりました。すご〜く楽しかったです。又、お願いします。)
- 第5班ホームミーティング一同 (第5班ホームミーティング、とても楽しかったので残金をスマイルします。)
- 成井正之会員 (WBC大会優勝、大変うれしい勝利でした。大きな感動ありがとうございます。後半3勝なので3,000円スマイルします。おめでとう!!)
- 永野文雄会員 (WBC日本優勝おめでとうございます。第5班のホームミーティング、堀田班長お世話になりました。本日の発表者ありがとうございます。)
- 金田昇会員 (WBC、すばらしい戦いでした。花粉症との戦いにはまだ勝てません。)
- 宮本多可夫会員 (ホームミーティング報告、御苦勞様でした。WBC世界一、ばんざい。)
- 白河西RC野球愛好会 吉田充会員 (WBC日本代表、優勝おめでとう!!西RC野球愛好会も4月1日練習が始まります。野球愛好会も甲子園での勝利を目指してガンバります。)
- 鈴木浩一郎会員 (バリューボルドープロモーションで全国酒屋部門・最優秀店舗賞をいただきました。6月にボルドーに招待されることになりました。ご報告をかねてスマイルします。)
- 大住由香里会員 (ホームミーティングの開催並びに報告ありがとうございます。親睦委員としてお礼申し上げます。)
- 運天直人会員 (今月は忙しく初の例会出席になりますのでとりあえずスマイルいたします。)

### ▶第1751回例会出席状況 (R5年3月23日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	66名
Ⓒ ①の出席者数	31名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	1名
Ⓕ ②の出席者数	9名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓓ + Ⓔ (メイクアップ補填後の出席会員数)	41名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	61
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	67.2%

▶例会日: 第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30~19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間



### 高島裕会長

皆さん、こんばんは。本日も例会のほうにご参加いただきまして、本当にありがとうございます。一番最初は、やはりWBCの日本が優勝したニュースからではないかと思えます。成井パスト会長、スマイルのほうよろしくお願ひしたいと思えます。ということで、やっぱり国の威信をかけた戦いというものは本当に熱いものであって、普段プロ野球のペナントレースはあまり見ないんですが、やはり日本代表が出るという試合は、サッカーにしる野球にしる日本国民として興奮する試合でございました。特に持っている人は持っているんだというのが、やっぱり大谷選手なんかがそうですね。まさかあの場で、大谷選手まで抑えて回されるという予想はしてない。そして同僚のトラウト選手と最後のああいって戦いで、45cmもスライドする球を投げて三振を取れるという、彼の持って生まれたそういった星の下に生まれた人なのかなと感じております。MVPも取り、何だかんだでやっぱり大谷さんが一番話題にはなっていますが、個々の能力から言ったら多分メジャーリーガーの人たちのほうが強いんだと思えます。しかし、日本の強さというのは大谷選手だけではなく、それぞれの選手が持ち場持ち場で自分の力を発揮してまとまったチームプレー。これが最終的に勝利に繋がるということだと思えます。これが日本人の素晴らしいところなのかなというふうに変更して感じた次第でございまして。ということで、我々も日本人として日本代表に負けられないように自分の仕事、そしてこういったロータリー活動にチームワークを一緒にしながら頑張っって前進していきたいというふうにご考えております。ということで、今日は私の場合は午前中、市内小学校の卒業式のほうに参加してまいりました。いよいよ中学校に上がる子供たちが、緊張した面持ちで卒業証書授与式に臨んだわけですが、正味1時間半の中で3人の子が体調不良になってしまうというふうな、やはりこれも体力の衰えなのか、あるいは緊張してる部分もあったんだと思うんですが、体力の衰えというのなかなかやはり拭えないところもあると思えます。これもやはりコロナ禍ということが原因になってる一つだと考えられると思えます。また、各団体に置かれましてはそろそろ総会の始まる時期。今、ここに来る前に私も白河商工会議所の総会のほうに参加してまいりました。西クラブからも何名かの方が、商工会議所の総会のほうに参加されておりましたが、やはり行政と同じく商工会議所も白河市を良くするため、そして経済を活性化するためというところで、様々な提案が各委員会、部会のほうから上がっていた次第でございまして。ということで、本当にいろいろな形でマスクの着用も含め動き始めたなというふうな感じがしております。5月の連休明け、5月8日からは、2類から5類にコロナのほうも下がるわけですが、そういった部分も考えますと、今まで以上に頑張らなくちゃならない我々がいるのかなというふうにご考えておりました。また、今週の次の日曜日はIMのほうにクラブから16名で参加してまい

ります。より良い実りのあるIMになりますよう、そして多くの懇親が持てるような場にしてきたいと思えます。どうぞ参加されない方も帰ってきまして、IMの報告をさせていただきますので、皆さんでその辺を取り組んでいただければなというふうにご考えておりますので、よろしくお願ひします。また、今日はホームミーティングの後半ということで、また各班の書記の方から発表があると思えますが、3つのテーマに関してお話しした内容を報告していただければなと思えます。また、皆様のほうに1点だけご報告をさせていただきますものがあります。それは、先週のホームミーティングの報告の際に、ロータリーの週報にも載りますので、こちら週報に載るからにはロータリアンとして不適切だと思われる発言に関しては、撤回、そして削除させていただくということになります。私も、先週の報告を受けて渡部さんのほうにちょっとお邪魔をさせていただきます、ロータリーとしてふさわしくない不適切な発言ということは、週報に残りますとこれもやはり一生残るもので、そして外部に漏れる可能性もあります。そういうことで、ロータリアンとして恥づることのないような発言、そして行動を取っていきたく思いますので、今後もすべてにおいて週報に残る場合に関してもそうですが、普段からやはり不適切な発言などないように、私も含め心掛けてまいりたいと思えますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思えます。ということで、今日はロータリーのホームミーティング第2回目ということで、後半の4つの班が発表していただける週となっておりますので、皆さんそれぞれの班でやっていただいた事、取り組んでいただいた事を今日発表していただければなと思えます。本来であれば、私個人的にはホームミーティングは年に3回ぐらいあってもいいのかなと思っておりました。時間が取ればの話なんですけど、やはりこれは普段お話の出来ないような大先輩とお話をしたり、あるいは入ったばかりの新人の方にいろいろ聞いて答えてあげられる場でもあって、お酒も飲みながら和気あいあいとロータリーについて楽しく語れる場であると思っております。本当に機会があれば、6月とかにもう一度やってみたくというふうには思っておりますが、プログラムの関係もありますので、その思いだけは持ち続けながらタイミングがあればそういった場も設けていきたいと考えております。後半、今日4つの班からまた報告がありますが、今日も楽しい報告になりますことを期待して、会長の時間とさせていただきますと思えます。

### ■幹事報告

### 車田裕介幹事

- 白河ユネスコ協会会長 小野利廣：「福島県ユネスコ」第41号送付について
- 地区RC財団委員会委員長 田久昌次郎、地区補助金委員会委員長 太田丈人：地区補助金申請書提出方法と提出締切日について（お願ひ）
- ガバナー 佐藤正道：計報
- ガバナー事務所事務局 佐藤直子：トルコ・シリア大地震支援金募集へのご協力のお願い
- 青少年奉仕委員会委員長 大木和彦、RYLA委員会委員長 佐藤美奈子：国際ロータリー第2530地区2022-23年度「第41回RYLA研修会」確認事項
- 研修・開発担当部：クラブでの役割に役立つロータリーのリソース

## ■本日のプログラム

## ホームミーティング報告

## ○第4班

## 大住由香里会員



皆さん、こんばんは。第4班のホームミーティングの報告をさせていただきます。4班のメンバーなんですけれども、班長が藤田龍文会員、書記が寺島由和会員、その他に佐藤清作会員、増子国安会員、水上泰真人会員、鈴木孝幸会員、渡部則也会員、大住由香里、私の8名だったんですけれども、書記の寺島さん、水上さん、渡部先生、鈴木孝幸さんのほうはちょっと都合が合わず、4名という形でのホームミーティングになりました。3月10日に、班長の藤田龍文会員のご自宅にお招きいただきまして、6時半から4名プラス奥様と一緒にホームミーティングをさせていただきました。テーマ1の順序から行きますと、テーマ1のスマイルを増やすにはということ、本当に単純に出席率が上がれば増えるだろうという話になって。じゃあ、出席率を上げるにはという話に行く方向になりそうだったんですけれども、そこで増子会員の方からスマイルってなんすかみたいな感じの意見が出まして、ああそういう事なんだよねっていう会話に変わっていきました。要は、新人の方がしっかりとロータリーの会の中身を知っていくことが先なのかということ。その話の中から私、親睦委員会なんですけれども、お祝いをお渡しした時に何もお伝えしなかったんで、先日鈴木浩一郎会員のほうからお祝いの翌週に「大住さん、スマイルって多くやらなきゃいけないんですね。」という話を受けまして、ああそうだって私も誰に教わったわけではなかったんですけれども、多分近くにいた方がこういうものなんだよって教えていただいたという経緯であったんですけれども、私もお伝えしなかったなと思いながら、皆さんが中身がわからないのにスマイルができないんじゃないかなという話が出ておりましたので、その中で西ロータリー独自の新人セミナーを初回なり総会なり、いろいろな会で企画してやっていくことも大切なのかなという話が出ました。新人を含め今回の会長からのお願い、親睦・懇親のお願いということで、ロータリーやクラブにおける決まりや一般的なルールを、パスト会長中心に話し合っ理解してくださいという中身もあったんですけれども、ホームミーティングだけではなかなか難しかったのかなと思ひまして、そういう企画を立てていくことも必要なのかなということになりました。テーマ2の、今後あったら良いと思う奉仕事業はということで、今まで植樹だったりとか単年度制の寄付ですかね。寄付などの単年度制は、継続性がないということもデメリットの一つなのかなという話が出まして、それも必要ではあるんですが継続性のある事業。例えば、CKBとかそういう野球の後援というんですかね、そういうものとか、継続性のあるものをしっかりと事業として成り立たせていくことが必要なのではということがありました。増子会員のほうから、やはり今まで小さな子供とか小学生だとか、そういう方への寄付だったりとか手助けはあったんですけれども、以前あったのかもしれないんですが障害者にも目を向けて支援していくという事業があってもいいのではないのでしょうかという意見も出ていました。今回、IMの講演の中身も子供「障害のある子を含む」となっているんですけれども、法的支援と支

人の危機管理という講演の内容でありましたので、こういう事も含め、私今回IMは行けないんですけれども報告を聞きながら、今後の事業に繋げていけたらと思います。テーマ3の、ロータリーの知名度を上げるにはということですが、本当に単純に会員数を増やせば知名度は自然と上がるだろうと。個人レベルではなかなか上がらないので、個人が会員組織の中に入って、そこから発信していくことで知名度は必然的に上がっていくだろうということでした。その中から、商売なども分母がまずは大事であって、参加できるできないはさておき、数をまずは成立させていくほうが先になるのかなという話が出ておりました。そんな内容で話はまとまっはいいったんですけれども、その中で今回4名という少ない人数だったんですけれども、佐藤清作先生だったりとか、なかなか夜は来れない参加できないという清作先生とも密に近くでお話しできたりすることができて、ホームミーティングの在り方というか、そういうものを楽しめることができたのかなと思ひました。班長に關しましては、ご自宅にお誘いいただいて、そしてわざわざ新潟のほうまで釣りに行ってくださって、甘鯛だったりオニカサゴ、高級魚を釣って来てくださりまして、姿作り、鯛のしゃぶしゃぶだったり甘鯛の天ぷらだったり、煮付けだったり、お寿司だったり、ご近所にある蒟蒻屋さんのおでんだったりをご準備していただきまして、最後には郡山まで足を向けてくださりまして美味しいチーズケーキもいただきまして、わざわざ和食に合うワインというのを鈴木さんの所からセレクトして選んでくださったということで、本当にホームミーティングはこういうふうにするんだなということと、ああ家庭って温かいんだなということ、あと暖炉も温かくて、とてもいろんな意味で温かいんだなと思いながら帰ってきたわたくしでありました。本当にありがとうございます。今回、会長のほうから綺麗に割り勘で行きましょうというお話もあったんですけれども、そういう意味では会費制ではあったんですけれども、龍文班長のほうに甘えさせていただいてご馳走になった形ではありましたが、本当に楽しく良い時間を過ごさせていただきましたことを感謝申し上げまして報告とさせていただきます。

## ○第5班

## 大竹憂子会員



皆さん、こんばんは。第5班のホームミーティングの報告をさせていただきます。3月20日(月曜日)18:30~アジアンチャオで行いました。参加者5名。堀田会員を班長に、書記を私、大竹。それと、永野会員、山口会員、村上会員の5名で参加しました。欠席者が、片倉会員、井上会員、永山会員3名ということです。テーマ1ですね。スマイルを増やすということで、いろいろお話が出ました。まず、スマイルをどのくらいしているのかというのをわからないという話から始まりまして、新人の方ですと尚更その辺がわからないということもありますので、こういった事をどうやって今後伝えていくべきかという話し合いもなされました。また、そのスマイルの用紙を書くのが面倒くさいという話がありまして。誕生日でしたり、結婚記念日などの項目が設けられていて、そこに丸を付けるだけとか、そういうふうに簡単な用紙の書き方というのができないのかという

話がありました。また、先程言ったスマイルの方法なんですけど、それについてはやはり推薦者が責任を持ってお話をすることが大事なんではないか。また、スマイル委員会がそういった事も説明するべきではないかというような話もありました。また、説明書というものを作って、それを入会時に見せてあげるとか、そういった事も大事なのではないかという話も出ました。それから、やはりこうやってオンラインなんかでもされてる現状でありますので、電子画面などで会場に来られない方もスマイル出来るというような仕組みを作ったらどうかとか。たまに来た時はまとめてスマイルするというのも、一つの案として上がりました。そういった事がいろいろ皆さんからいろんな意見が沢山出たんですけども、その中で最終的にまとまったのが、永野さんの背中を見る。これが一番大事かなという話に最後はなりました。続きまして、テーマ2の今後あったらよい奉仕事業ということなんですけど、植樹。これが植樹イコール白河西ロータリーという感じで今まで来てたんですけど、管理が難しいとか管理ができないとかで植樹を受けてくれない。植樹をNGする。そういったことも増えてきたということで、なかなか難しいというのがある。ですが、カーボンニュートラルとかSDGsなどにも繋がる事業でもありますので、今後南湖への植樹とかを実施していくのも良いのではないかという話になりました。また、CKBのような継続事業。それと共に、CKBで参加してくれている学生たちがやはり白河西ロータリーのメンバーと一緒に何かやるという活動をとても喜んでる。また、それをとても楽しみにしているという話もあるので、今後も以前清掃活動をみんなでやったんですけども、そのような事を今後もやっていったらどうかということで、清掃活動も1回だけではなく、やっぱりずっと継続は難しいが2回3回と続けるのもありなのではないかという話も出ました。それと継続も大事ですが、新しい事業を考えていくことも大事なのではないかということで、そういった事業を起したら実行委員会を設けてやってもらうというのが一つの手ではないかというような話も出ました。正直、新しい事業に関しては、なかなか思いつかなかった点もあったので、次のテーマ3のロータリーの知名度ということに入りますが、まず最初に私たち5班は、何故知名度？。それと、ライオンズとロータリーの違い？。という感じで、そこで結構議論がいろいろ出てきて、その後いろんな話し合いが出てきたんですけども、いろんな事業だったりとかいろんなことをする上で、また普段のこの定例会で新聞社の方も来ていただいたりしながら、普段の時から新聞社との繋がりを持っていくということも大事ではないかと。それと、またライオンズとロータリーの違いなんていうところでちょっとあったんですけど。ライオンズの場合、寄贈した場合、結構寄贈ライオンズと違ってちゃんと文字が入っていることが多いので、それだけで学校のどこにあってると、えっライオンズって子供たちが思ったりする。それをまた大人になってからも、それを覚えてたりすることも多いので、やはりそういうふうにご寄贈する場合なんかは、やはりロータリーも名前を残しておくのも大事なのではないかなと。そうすることで子供たちに印象が与えられて、親御さんにも伝わったりするのではないかということも話しました。それから、知名度大事ですが、まず白河西ロータリーのフェイスブックを当日、もしくは次の日にはあげてほし

い。これも大事なのではないかと話が出ました。あとは、特別な活動がないのであれば知名度というのはいくらでも必要なのかというような話もありました。会員確保のためとか、そういった面では知名度というのも大事かもしれませんが、やはりロータリーという中でいろいろな活動が出来ることのほうが大事なのではないかというような話が出ました。そこで美的センスとか、お話はいろいろ出てきたのですが、それで最終的にそのぐらいの話で終わってしまっただけですが、その後に実は以前はテーマ何々、テーマ何々って、必ずその後にはその他ってあったって話がありまして、そのその他の時に自由な事をいろいろ話せるから、その他がないのは何でなんだという話になりまして、その他というのがあって必要なんではないかという話が出まして。それで、じゃあうちはその後もやりましょうという形で、その他という形でいろんな話が出てきたんですけど、まずはホームミーティングの事ですね。ホームミーティング、やはりこのコロナ禍で会場が皆さんとなかなか会話したり、いろいろ接することが難しい状況もあったりもしたもんですから、このホームミーティングというのは本当に大事だと。こうやって少人数でいろいろ話せる機会というのはとても良いと。だから、ホームミーティングがあるから会員でいるなんていう話もあったりするくらい、そのホームミーティングを楽しみにしているということが会話してとても印象的でした。あとは、いろんな場面で〇〇会員とか〇〇さんとか、同じ呼び方を出来たらもっとやりやすいのではないかと、あとは会員の手引きを作るべきではないかと。会員の手引きを作って、それを新しい方たちが見たり、また教える方がそれを見て改めて新しい会員さんたちにそういった白河西ロータリーはこういうとこだよなんていう会話が出来るというふうにしていくのが大事なのではないかということで。会員手引きを作れ、作る、by山口、ガハハって感じで、ちょっと楽しくその辺も会話してたんですけど。あとは、何故昼の例会が12時半からなのだとかいう話とかもいろいろ出まして、やっぱりそうやって皆さんとお話してとても楽しい時間でありました。また、その中でも会場がこの第一ホテルになったまでの話なんかいろいろ聞いて、すごくそれも何て言うんでしょうね、これはどこに繋がるのかなとは思んですけど、各テーマにいろいろ繋がるのかなと思うんですけど、やっぱり人と人との繋がりであったりとか、そういった話し合いの重要性。それが大事だなというのを感じるお話を沢山聞いて、とても素敵なホームミーティングになりました。あとは、それとその他のとこだったんですけど、年18万の会費についてはどうだろうかということで、どう思うなんてお互いに話し合ってみたことがあって、ずっと変わらないこの年18万というのは妥当なのかどうだろうかなんていう話もちょっと盛り上がりつつ喋った一つですね。あとは、こだわりはNGじゃないかというby堀田、ということで、そんなこともちょっと出まして、こだわりすぎるのもどうかなという話もちょっと出て、とてもずっと笑いの絶えないホームミーティングを過ごさせていただきました。以上で、5班の報告を終わらせていただきます。

## ○第7班

佐藤幸彦会員



皆さん、こんばんは。第7班の発表をさせていただきますと思います。3月8日、6時半から「赤門新館」におきまして、班長を兼子聡会員。書記にわたくし。安部和夫パスト会長、白岩修一会員、須藤正樹会員、佐川京子会員、松永紀男会員の合計7名で開催いたしました。本来であれば、鈴木信教会員も出席する予定でありましたけども、突然の公務、お通夜ですね。入ってしまったということで、例会には来ないけどもホームミーティングには必ず出てきた信教さんが来れなくて残念でございました。定刻6時半に、喉を潤しながら開会したわけですが、本来であればその日は「赤門新館」さんは閉店の日だったそうでございます。それを兼子聡会員が無理やり開けさせてホームミーティングをさせていただきました。高島会長、ありがとうございます。定刻6時半に始まったわけなんですけど、開会前に松永会員の奥様が旦那を送って来ていただいて、ちょっとテーブルに着いたんですね。一緒にちょっと飲み物なんかも飲んだわけなんですけど、その時思ったんですが婦人参加のホームミーティングも良いかなとふと思いました。以前であれば、ホームミーティングというのは班長さんのお宅にお邪魔してやっていたという時期もあったと思うんですが、今はなかなかコロナも含めて難しい時期になってしまったので、ホームミーティングも奥様も同伴のホームミーティングもあって良いかなとふと思いました。テーマに入りますが、スマイルを増やすにはということでございますが、以前は欠席したらスマイルをしなくちゃいけないとかあったそうでございますが、現在はそういう事はあまり強くは言っていないということでございます。また、個人別に金額を報告したらということもあったんですが、これは数年前にも同じ話題があったんですが、スマイルというのはあくまでも奉仕だと。それを金額で誰が多い少ないと発表するのはおかしいんじゃないかということが話題に以前に上がったような気がしますので、それは今後の検討かなと思えました。また、別にベストスマイル賞。金額は発表せずに、一年間で一番多くのスマイルをしていただいた方に表彰したらどうかという意見もございました。また、目標金額は一人大体2万5千円程度なので、誕生日と結婚記念日、それだけで1万いってしまいますので。あと、月例えば千円でも2千円でも、ふた月に一回とか一か月に一回やれば大体2万5千円いってしまうのではないかという意見もございました。あと、誕生日、結婚記念日のプレゼントをいただいているんですが、スマイルは5千円だといっているにも関わらず、それに見合った見返りがあるのかなという意見もありました。商品券なんかもいただいているんですが、商品券よりもケーキとか花とかが良いなど。何故かといいますと、商品券というのは貰っても使わなかったのが結構あるという意見が出ておりました。テーマ2の、今後あったらいい奉仕作業という話題ですが、水草除去という猪苗代でやった時期があったんですが、あれも悪い事ではないんですが、やっぱりもっと地元のための奉仕作業をいろいろやったほうがいいんじゃないかと。もちろん、白河駅の清掃作業とか、南湖公園のごみ拾いとかやっているわけでございますけども、地元で根を生やした奉仕作業をやったらいいんじゃないかという意見が出ておりました。

た。それと、子育て支援、子ども食堂の支援というのも良い奉仕作業じゃないのかという話が出ました。テーマ3の、ロータリーの知名度を上げるには、にも関連してるんですが、先程の子育て支援、子ども食堂支援のもうちょっとロータリーとして奉仕できるようなことはないかなということ、居場所の提供とか、子ども食堂は毎日開いていないと。月、水とか週2回程度ですか。それを毎日開けるような補助、援助をしたらどうかという意見が出ておりました。また、CKB、自転車、あといろいろ事業やってたわけではございますけど、白河西ロータリーとしてのメイン事業を一つ起ち上げたらどうかという意見も出ておりました。その中で、子供たちを海外へ連れていく事業なんかもいいんじゃないかと意見も出ておりました。第7班の報告でございますけども、先程高島会長のお話もありましたけど、年に3回あってもいいんじゃないかというような、一つのロータリーの活性化としてはホームミーティングとは各班の報告を聞いておいても盛り上がるようございまして、ロータリー活動的には非常に良いホームミーティングと思えました。以上、7班の発表終わります。

## ○第8班

鈴木典雄会員



皆さん、こんばんは。それでは、8班のホームミーティングの報告をさせていただきます。8班は、班長に鶴丸会員。富永パスト会長、矢田部パスト会長、青木会員、十文字会員、石川会員、あと書記のわたくしの計7人で、上杉会員は欠席。3月14日、6時30分。青木会員の日本料理「楓」で行いました。テーマ1、スマイルを増やすには。その中で、まず初めにスマイルをする意味をもっと詳しく説明する必要があるということで、ニコニコとスマイルの違いを明確にしてみる。明確にすることを知りたい。自分が年間幾ら払っているかを知りたい。それと、気持ちよく払えるようにしたい。スマイルをする目的は、事業費を増やすのであれば会費を上げてみてはという意見も出ました。最終的に、スマイルの目的を明確にしてからスマイルを増やす議論をしたほうが良いのではないかという意見もありました。それとスマイルを強制的にする方法と予算化にしてはどうかという意見も出て、予算化にするならスマイルは本年度予算に組み込まずに来年度予算にしてみてもはという意見も出ました。続きまして、今後あったら良いと思う奉仕作業は。奉仕作業にこだわらずやりたい事業をしてみるのはいかがでしょうか。過去にどんな奉仕作業をしたのか見直してから、これからどんな事業をするか考えてみてはどうか。事業よりもお金を友好的に寄付してみるのも、一つの方法ではないかという意見が出ました。それと、若い人からの意見を拾って、若い人がやりたい事業をやってみてはという意見が出ましたので、そこで若い人から具体的な案が出ましたのでちょっと紹介してみます。バザーをするということで、出品品はロータリーならではの高価な物。例えば、ブランド品やドライバーなど、一般的なバザーでちょっと売りにくい物をバザーで売ってみる。その中で出た収益はスマイルに上げる。同時に、そのバザーの場でロータリーのPRなどをしてはどうかという意見が出ました。もう一つは、子育て世代に向けて預かり保育などの奉仕作業をしてはどうかという意見も出ました。テーマ3の、ロータリーの知名度を上げるに

はということで、まず人を集めるために知名度を上げるのか、ロータリー活動の知名度を上げるかで議論が違ってくるので、まずは知名度を上げる目的をはっきりさせてから議論したほうが良いのではないかという意見になりました。最後になりますが、今回のホームミーティングは会費が完全割引なので、班長の負担がなく、誰でも班長を受けやすく気兼ねなく飲むことができる素晴らしい企画であったと皆言っておりました。そして、ホームミーティングは例会では聞けない意外な裏話が聞ける貴重な集まりの場でありました。

#### ○総評

#### 高畠裕会長

各班の皆さん、班長さんはじめ書記の皆さん、報告ありがとうございました。二週に渡っていろいろ貴重な意見いただいたと思っております。その中でも、今日5班で大竹さんのほうから報告がありました、タイトルの中にその他という項目が欲しいというなお話でしたが、これ基本的にその他付けなくても勝手に皆さんやってたので敢えて付けてはいなかったのですが、次回から私が会長継続で2年間やれるようであれば次回から付けるようにしますので、よろしく願います。それから、各班でやはり多いのが新人の方が特に、スマイルの意味が最初からわからないのでスマイルのしようがないというふうな意見が多かったということも含めて、これ次年度の佐藤次年度の会長のほうにそのまま申し送りをさせていただいて、できる所は今年度中に進めていきたいというふうに思っております。この後、ロータリー情報委員会などありますので、そういった場でこういった部分の内容も含めてお話をさせていただければというふうに感じております。それから、先程フェイスブックを当日か次の日に上げてほしいということで、本来であればそのほうが一番理想なんでしょうけど、こちら今現在渡部さんのほうから写真を送っていただいて、それから私がフェイスブックを開いて作るというような作業してますので、当日というのはちょっと難しく、渡部さんのほうから大体次の日か、その次の日に遅くともいただいているので、なるべく早めにフェイスブックのほうに反映させていただきたいというふうに思っております。会長の仕事の一つとして、フェイスブックの反映ということもありますが、そういった部分も含めて改革できるものは改革して、皆さんにとってより良いホームミーティングで出た意見が会の運営に反映されると、そういった話を含めて検討させていただいて、実現させていただければと考えておりますので。今日と先週いただいたこちら皆さんからの貴重な意見は参考にさせていただいて、今年度、次年度に反映させていただければというふうに思っております。本当に貴重な意見、皆さんが集まるところといった素晴らしい意見が出てくるんだというふうなことがわかりましたので、今後ともまたホームミーティングをうまく活用の仕方で情報提供いただけるように頑張りたいというふうに思っております。本当に2週に渡り、ありがとうございました。ここです、永野さんのほうから一言、皆さんにお話がありますので、ちょっと伺っていただければというふうに思います。どうぞよろしくお願い致します。

#### ○永野文雄会員



改めて、こんばんは。ちょっと時間があるということで今、会長に特別にお願いしました。先程の4班の発表の中で、スマイルに永野の後をどうのこうのと話あったんですけど、私が説明したのは、私は林さん4代目会長の時の幹事なんです。そして、林さんはタバコを吸わないから、1週間で2千円のたばこ代をスマイルするんだと。私もタバコ吸わないから、それを真似してやってます。みんなタバコ吸う人は、1週間で2千円税金を納めてるわけです。私らは税金納めないから、そういうふうにはやってんだということで、ちょっと舌足らずだったので、そういう事でございます。あともう一つ、植樹の話出ましたが、木を植えるということ。堀田さんが専門だったんですけど、南湖の松がもう年々松くい虫にやられて減ってるそうなんです。だから、南湖は市役所の許可貰えばできるそうなので、南湖の松をどんどん増やしていかないと、20年先50年先にはなくなっちゃうんじゃないかと。だから、それは西クラブでやったらどうですかということだったので、それも言うておきます。あと、私10周年の話もして、今日、村上君が欲しいと言ったから資料を持ってきたんですけど、10周年の時には記念事業で作家の柳田邦男さんと呼んだんです。すごいでしょ、西クラブは。27名でスタートして、当時54名。あの大小説家の柳田邦男先生をお呼びしたんです。それは4代目の柳沼さんといって、福島民報販売店の柳沼和夫社長さんが毎日新聞のルートでお呼びしたんです。だから、それぐらい昔は一生懸命だったんです。あともう一つ、みんなに知っておいてもらいたいのは会場移転。最初は「はくや」さん。新蔵の「はくや」さんでやりました。「はくや」の久保木さんもメンバーで、そういうことをやりました。そして、チャーターは久保木さんの新しい店。今の山の上の「新白河サンプラザ」という所で、チャーターナイトをやったんです。それが、10年間やって27名が倍の54名になりました。だから、会場移転そろそろ「はくや」さんでは狭いし、10年やって義理済んだんだから、永野が会長11代目でお前が会場移転やらなきゃ駄目だぞとこう先輩からはっぴかけられまして、私も何対何で決まりましたということ嫌なので、もう何回も会議を持ちまして満場一致という形に持っていこうとしました。その時に、佐藤清作先生が「はくや」さんの会計を担当して、「はくや」さんのほうから人数が増えてうちでは対応できないから会場変更してくれという文章をいただいて円満に移動しました。そして、その時私はじゃどこにしようかなとって、今の「エクシブ」が当時「ウエストビレッジ」といったんですね。昔。だから、そこに行って交渉したんですけど、うちは雪降ったり冬はクローズになっちゃうと言うので、そのままそこは駄目だと。丁度その時、ここサンルートさんが増築して、この新館のほうで西クラブ受けてもいいって金子博さんが言ってくれました。